

曾於市農業委員会は、地域農業者の代表として、将来に希望を持ち、農業が発展するように行政上の諸問題について提言します。平成 25 年度の本市の農業・農村施策に反映していただきますようお願い申し上げます。

記

1. TPP問題について

わが国が、関税撤廃の例外措置を認めない TPP（環太平洋連携協定）交渉に参加すれば、農林水産業をはじめ、関連産業を含む地域経済が壊滅的打撃を受けることは必至であります。曾於市及び日本の農業を守るため国・県へ継続して反対していただくことを要望します。

2. 畜産農家等の支援について

BSE対策については、国は牛肉の輸入制限を現状の 20 ヶ月以内を 30 ヶ月以内に緩和する動きがありますが、安心・安全確保のため 20 ヶ月齢を守っていただくよう国と県に働きかけを要望します。飼料価格についても、米国の干ばつの影響でとうもろこしの価格が高騰しています。配合飼料価格差補填金についても、国と県に充実・強化の働きかけを要望します。

畜産については、畜産振興協議会を中心に対策を実施していただいておりますが、更に各種補助金・助成金の充実を図っていただきますよう要望します。

また、高齢化が進行する中、若い小規模農家の担い手に対しては経営が安定するよう支援の強化を要望します。（※・BSE対策の輸入できる月齢制限は、平成 25 年 2 月 1 日から 30 ヶ月以下に緩和されました。）

3. 畑地かんがい事業の営農推進について

曾於北部地区畑かん事業の国営事業は、平成 26 年度事業完了・県営事業は平成 33 年度事業完了に向けて整備が行われております。畑かんの早期完成に向け、予算の重点配分を国と県に要求していただくことを要望します。

また水利用については、東部畑かんと共に水利用の積極的な推進と畑かん営農体系の確立を図っていただくことを要望します。

お茶は、霜の時期、畑かんの水を一齐に利用するため、水不足が発生しております。防霜対策として節水型散水機が効果大という調査報告があります。散水器具補助金の充実を国と県へ働きかけていただくことを要望します。

甘藷については、保冷库に対する補助、施設園芸については、重油の高騰により経営が悪化しておりますので暖房機具への助成を要望します。

4. 有害鳥獣対策について

イノシシやカラス等の有害鳥獣の被害は、年々増加傾向であります。鳥取県や群馬県の市町村では食肉加工施設が設置され、イノシシ肉をブランド化し、大きな成果を収めている市町村もあります。

本市でも有害鳥獣対策の充実を図っていただくことを要望します。

5. 食育の推進と地産地消について

近年、消費者の安心・安全に対する関心が高まっている中、新鮮な地元農産物の消費拡大を更に推進していただくことを要望します。肉や野菜・ゆず等曾於市特産品をネットを利用したセット販売等で消費拡大を推進していただくことを要望します。

6. 廃農業用資材の回収の徹底について

最近、市内で廃農業用資材（廃ポリ・廃ビニール等）を焼却する方をよく見かけます。焼却に伴い二酸化炭素や有毒ガスが発生し、大気中のオゾン層を破壊し、環境異変により天候不順が多発しております。

廃農業用資材の回収については、生産履歴により確認をしていただき、回収の徹底を要望します。

7. 後継者対策について

農家の高齢化、後継者不足は深刻な状況であります。認定農業者、担い手の確保育成と経営安定向上のための支援の拡充を要望します。

また、農業後継者の花嫁対策については、マスメディア等を利用した継続的な対策を検討していただくことを要望します。

8. 代替エネルギーの推進について

太陽光や風力など再生可能エネルギーを普及させるために、固定価格買取制度が始まり、曾於市でも太陽光発電施設の設置希望が最近多くなって来ています。遊休農地解消対策として再生可能エネルギーへの積極的な取り組みを要望します。